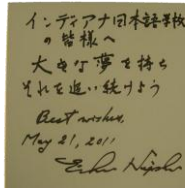


学校だより

インディアナ日本語学校

11 N09(5月) 全校生341人



メダルよりも光る親の役割

10の7乗分の1の確率で、ノーベル賞の受賞者が生まれるそうです。10000000人に一人の授賞ということで、可能性が遠のくと思いがちな人たちに、一步一步の階段を上ることを7回繰り返せば、誰でも可能であることを説かれた根岸先生の講演でした。

子どもは、競争をしながら夢や希望に向かって進まなければなりません。多くは挫折や変更を強いられるので取り組みになります。親は事前に障害物を取り除いたり、その代行業をしたりすることも出来ませんから、「しっかりせよ」と励まし続けるしかありません。励まし度だけは、10の7乗の人がたくさんいます。

1「子ども絵画コンクール」について
○応募を希望する人は、担任に申し出て下さい。
○〆切：8月20日(土)

2「漢字検定の受験者へ」の配付
(受験者のみ)

3 JAXA宇宙飛行士
若田光一さんの講演会について
①日時：6月18日 AM 10～ 11
②対象：小学3年～高校
★保護者の参加、写真撮影、サインは、出来ないことになっています。

文章を書こう



<p>3年</p> <p>うのやま菜 宇野 やま菜</p>	<p>土曜日の朝おきたとき、さんかん日のことをわすれていました。学校に着いたら、ロビーとろう下にお父さんやお母さんがいっぱいいて、今日はさんかん日だと思い出しました。きつつきの商売の発表会がはじまると、どきどきしました。ありの行列では、お母さんたちが何をしているのが気になりました。ありの行列を読むと、ありは目が見えないということを知ってびっくりしました。次のさんかん日では、もっとも手をあげたいです。</p>
<p>3年</p> <p>もりほくと 森 星空斗</p>	<p>今日、夕方お母さんと妹と遊びました。何をして遊んだかと言うと、キャッチボールとシャボン玉とバスケットボールをして遊びました。お母さんは、子どものときからバスケットボールをやっていたから今でも上手です。お母さんの目が大きいから名前は、ひとみです。</p>
<p>4年</p> <p>さとうゆみ 佐藤 有美</p>	<p>【初めて日本語学校に行ったこと】 私は、初めて日本語学校に行ったときに、さいしょは、悪口とか言われると思ったけど、みんなはとてもやさしくて、私がノートの書き方が分からないときに、書き方を教えたりしてくれたので、とても安心しました。だから、私もこままっている人がいたら、助けてあげようと思います。これからも、私のことをよろしくお願い致します。</p>
<p>4年</p> <p>くらはしりな 倉橋 里奈</p>	<p>【海外生活で体験したこと】 わたしは、アメリカに来てから1年がたちました。アメリカに来てびっくりしたことは、家の中から、ウサギやリスやしかが見えることです。日本では動物園に行かないと見られないのに、アメリカではそこらじゅうにいます。びっくりしました。ほかに、家の大きさにびっくりしました。わたしは、アパートにすんでいます。日本ですんでいたアパートのやく3けん分はあると思います。それに、一けん家はすごく大きくて地下があります。日本にはほとんどの家がありません。わたしは、地下がすきです。どうしてかという、地下ではどんなにさわいでもうるさくないし、トルネードが来てもにげられるからです。</p>
<p>5年</p> <p>たかくらかなん 高倉 果楠</p>	<p>【果楠のケチ】 「ケチ」と言う妹。それにたいして、「だまれチビ」「そっちがだ」と言いかえします。ぼくの妹は、年上に言いかえしてくるほどの負けずぎらいです。だけど、口げんかの後はいつも妹が自分の部屋に泣きながら消えます。口げんかがひどくなると、ぼうりよくをふるってきます。たとえば、「アホチン」「カナチン」「だまれゆめチン」「だまれバカチン」と言いあつた後にキックパンチをします。妹の、「お母さん」の声で、ほとんどいつも母の、「やめなさい二人とも」の一声でけんかが終わります。「そんな風に妹がたたいてくるなんて、ふつうじゃないの」と思う人には、ぼくもさんせいなんです。妹は両親にも反こうします。そんな妹でも、ぼくには大切な人です。なぜかと言うと、もし妹がいなかったら、米国でうまくいかなかったと思います。妹がいるからこそ、ぼくはがんばれる気がします。妹は、「果楠、早く遊ぼうよ」と言ったり、「果楠、やったね」と言ったりします。そんなかわいい妹にひげきが起きました。ある日、母とぼくと妹で、歯医者に行きました。妹の歯のチェックが終わって、お医者さんの話を聞きました。すると先生は、「妹さんの歯はここでは治せません。他の病院に行ってください」と言いました。2週間後、ちがう歯医者さんで歯をチェックしてもらいました。すると、妹にたくさんの虫歯があり、そのうち4本をぬくことになりました。かわいかった妹も今はおにババです。おこったり遊んだりしてくれる妹がいて、ぼくは、とてもラッキーだったと思います。これからも、このきょうぼうな妹とがんばっていきたいと思います。「果楠のケチ」</p>